



日本で最大の被害を出したのは、いつの地震なの

1923年9月に起こった、関東大地震

日本は世界の中でも、地震が多い国で、昔から、たくさんの地震が起っています。江戸時代から、記録されている大きな地震は、数多くありますが、日本で最大の被害を出した地震は、1923年9月1日に起こった、関東大地震（関東大震災）です。

死者・行くえ不明者が、約14万2000人

地震の大きさは、マグニチュードという、地震のエネルギーの大きさを表す、単位が使われます。関東大地震は、マグニチュード7.9です。1995年1月に起こった、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）は、マグニチュード7.2です。

マグニチュードが1増えると、地震のエネルギーの強さが、約32倍になる、といわれています。関東大地震は、兵庫県南部地震よりも、はるかに大きな地震だった、ということがわかります。

この地震は、午前11時58分に起こり、多くの家庭では、火を使って、昼食の用意をしているときでした。それが原因で、火事が起こり、たくさんの人が焼け死にました。

地震の被害は、死者・行くえ不明者が、約14万2000人、つぶれたり、大きくこわれた家が、約25万4000戸、地震の後の火事で焼けた家が、約44万7000戸でした。
（監修・国司 真）

